

働く者への「**正当な評価と還元**」が必要だ！

“夏季手当3.0ヶ月”を堂々と求めよう！

2022年4月27日に「**2021年度の決算**」が発表されました。

決算のポイントは

- 前年度コロナ影響の反動や不動産事業での“回転ビジネスモデル”による売上計上で増収。
- コロナ前の水準には回復せず、期末決算では過去2番目に低い営業利益・運輸収入。
- 2期連続で営業損失・経常損失・当期純損失を計上。

たしかに“赤字決算”となりました。しかし「手元に現金がないため借金していた」昨年までの赤字とは状況が異なっています。

“損益計算書”から特徴点を掴もう！

① 人件費を増額へ！

2022年度の人件費（予想）は、前年度に比べて **166億円を増額**している！

② 当期純利益は大幅に改善！

2021年度の業績予想（単体）は、 $\Delta 1,520$ 億円に対し、実績は $\Delta 991$ 億円となり、赤字を大幅に改善している！

③ 設備投資の増額とその背景にあるものは！

2022年度には、**1,139億円の増額**を計画している。その背景には「**事業適応計画の認定**」がある。

損益計算書から掴んだ特徴を3点挙げてきました。

赤字額を減らしてきた背景にある“コストダウン”や“生産性向上”そして、“業務改革”は現場の努力や苦勞なくして成し遂げられません！

生活では、ウクライナ情勢による“物価高騰”が重くのしかかっています。

現場から本部交渉を支え、“夏季手当3.0ヶ月”を実現させよう！